

2016年12月12日

## 国薬器械の本社が北京から武漢に移転

昨日、中国最大規模の医薬健康中央企業、世界トップ500の企業である中国医薬グループ（国薬グループと略称する）によると、このグループ傘下の中国医療器械有限公司（国薬器械と略称する）は契約を締結して本社を北京から武漢光谷生物城に移転し、来年から始業する予定。

国薬器械は全国最大の医療器具の商業流通企業であり、今年の売上高が170億元に達する見込みで、名実相伴う「医療器具のボス」である。本社が光谷に移転した後、国薬器械は関連業務部門を新設し、医療器具の第三方物流拠点の建設に投資し、国内で先頭を切って、国際に及ぶ医療器具の一体化総合サービス産業のプラットフォームを作る計画である。

2016年12月13日

## 光バレーの2大プロジェクトが湖北「シリコン時代」を牽引

昨日、世界をリードする半導体設計会社であるアメリカのシノプシス（Synopsys）が武漢未来科技城で世界研究開発武漢産業園の建設を始めた。

その他、総投資1,600億元の長江メモリプロジェクトが今月、未来科技城で着工する。その二大集積回路プロジェクトは湖北省が「シリコン時代」に邁進するのをリードする。

シノプシス（Synopsys）武漢産業園はアメリカシリコン本社以外に、世界で唯一、土地を購入して建てる産業園であり、総投資は5000万ドル、2019年に竣工、使用する予定。